

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十七年 一月度 入選句（投稿総数千五百六十一句・一般投句数四百七十一句）

特選

クリスマス 青い光が街照らす

大垣市

川瀬 芙沙子

青い光と言へば御周知の通り日本の三人がノーベル賞に輝いたあの光である。クリスマスとなるとイルミネーションの世界になる。青い光をクリスマスに取り入れた新しい感覚が素晴らしい。

産土に雅楽の舞ひや淑気満つ

大垣市

森川 きよ子

産土（うぶすな）とは人の生れた土地とある。この句の作者の故郷であろう産生神への雅楽の舞を奉納しての雰囲気詠まれた作と思うが淑気満つと下五で、た新年らしい句。

雪しきり 城は輪郭失へり

岐阜市

小湊 順子

大雪で時々刻々積つていく様子が窺える。「城は輪郭失へり」とは上手い表現をされたものだ。欲を言へば上五の「雪しきり」を別の言い方が無かつただろうか。

秀逸

伊吹嶺の雪をはるかにむすびの地

三重県伊賀市

佐々木 経子

数へ日におさな子の夢ひろがりぬ

大垣市

林 芳江

雪原の赤き一輛電車かな

愛知県名古屋市

舘野 茂子

白障子あわき明りに二尊仏

大垣市

臼井 秀子

湯気みちて土鍋賑わふ関東煮

不破郡垂井町

高木 紫雲

父の忌も母の忌も過ぎ去年今年

大垣市

今津 正元

雪の駅うどんの文字の太きこと

大垣市

後藤 ひかる

よき事の期待も少し初暦

大垣市

伊藤 京子

手も足も八本欲しき師走かな

大垣市

澤井 国造

幸せのあふれる予感初暦

北海道小樽市

大橋 美彌

入選

直筆で温もり届け年賀状
御岳の全容見ゆる掛大根
除夜の鐘余韻ゆるりと里山に
一椀の雑煮にけづる鰯かな
石蓐の黄色に咲いて庭灯す
冬の笹ざわめきてのち風かすか
山幾重煙吐く山眠る山
一つ家に表札ふたつ松飾る
一人者遠慮はなくて大噓
初雪の包み込みたる峡の村

大垣市	高柳 知加子
愛知県尾張旭市	古賀 勇理央
不破郡垂井町	児玉 信子
安八郡輪之内町	野村 照子
大垣市	井沢 美志津
岐阜市	伊藤 瑞実
大垣市	棚橋 みさを
安八郡神戸町	高橋 日出美
大垣市	久富 キヌエ
愛知県岡崎市	鈴木 正紘

入選

鯛焼を懷いてかけ足塾帰り
天を突くメタセコイヤの照葉かな
山柿の熟れしまゝなり過疎の里
切干しのちりちり乾き日の香り
万物に流転のありて大枯野
一本をつけて二人の晦日蕎麦
正月や息子に譲る鍋奉行
訪ね来てふと蠟梅の香に和む
初暦いつもの場所に収まりて
初詣巫女やはらかく鈴を振る

大垣市	時田 さがみ
大垣市	春日井 勝代
大垣市	島岡 嘉明
大垣市	鶴田 信子
大垣市	北浦 典子
東京都世田谷区	関戸 信治
岐阜市	宮西 美代子
大垣市	三宅 ヒサエ
大垣市	谷 彩虹
不破郡垂井町	竹嶋 富美子

選者吟

買初はキヤスター付と決めにけり